

とねやま

編集・発行

大阪府立刀根山支援学校
 本校教育部・訪問教育部
 ☎06-6853-0200
 大阪精神医療センター分教室
 ☎072-847-6951
 大阪大学医学部附属病院分教室
 ☎06-6876-5229
 関西医科大学総合医療センター分教室
 ☎06-6995-5215
 関西医科大学附属病院分教室
 ☎072-845-7033
<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y/>

今年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの第7波とロシアのウクライナ侵攻という2つの大きなニュースが思い出されます。新型コロナウイルスについては、変異株が出現し、今夏、第7波の主流となりました。オミクロン変異株 BA.5 は、現在もじわりじわりと感染拡大を続けている状況です。いつになれば、この終息が見えるのでしょうか。そして、ロシアとウクライナでは、今なお戦争が続いています。毎日報道がありますが、世界中の人々が心を痛めている問題です。一日も早く、平和な日々が取り戻されることを望んでいます。世界の情勢はこのような状態ですが、刀根山支援学校では、この2学期、運動会や学習発表会に参加したり、また、前籍校の運動会、修学旅行等の行事にテレロボを使用し参加したりと、これまではできなかったことが実現しました。テレロボは、セイコーエプソン様のご協力により実現した「ゆめ水族園」でも活躍しました。数台の大型プロジェクターより会場内の天井、壁面、白布に美しい魚や動物たちが映し出され、まるで海にいたような迫力で刀根山支援学校の本校多目的ホールが「一日水族園」となりました。この様子を各分教室、そして訪問教育部の児童生徒もテレロボを使って会場にいるのと同じように楽しみました。刀根山支援学校の児童生徒のみんなが一つの行事でつながった、素晴らしい一日だった気がします。今後も、時代に即した様々な方法を提案し、子どもたちの適性を考えながら、本校・訪問、各分教室がしっかりとつながれるよう支援していきます。

本年も本校教育に温かいご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、新しい年が本校児童・生徒、保護者の皆様にとって素晴らしい年となりますよう、教職員一同、お祈り申し上げます。

校長 高河原 健

【学校運営協議会報告】

令和4年度第1回学校運営協議会（6/21）では、委員長・副委員長に、井村 修委員長、山田 享副委員長が選出されました。学校運営計画の説明、各部署の状況について、地域支援に関する取り組み、教科書選定について報告・連絡をしました。第2回（11/8）では、学校運営計画の進捗状況について、各部署の前期教育活動の状況について、学校教育診断票、教科書採択の報告・連絡をしました。



10月5日にセイコーエプソン様による「ゆめ水族園」が開催されました。多くのプロジェクターを活用してまるで海の中にいるかのような体験ができました。左のポスターは生徒がデザインし地域の保育園の方々にも来ていただきました。右のロボット temi などを使いオンラインで各分教室ともつなぎ「ゆめ水族園」を体験しました。



【滝井セミナー】

毎年多くの先生方が参加される滝井セミナーは、今年で16年目を迎えました。今年も関西医科大学総合医療センターの小児科の先生による講演です。夏季休業中にオンデマンド配信とすることで600名を超える参加申し込みがあり、地域の小、中学校、高等学校の先生方等のニーズに応える研修となりました。「起立性調節障害の理解と対応」（柳本嘉時先生）、「摂食障害の理解と対応」（石崎優子先生）のお二人のお話は、医学的な見地からこれらの病気をどう理解するのか、また学校での配慮事項などについて詳しく教えていただきました。3年目になるコロナ禍で起立性調節障害や摂食障害に罹患する子どもが多くなっていることも知ることができました。参加された先生からは、「子ども理解に有用であった」「新しい知見があった」と好評でした。来年度も各学校の先生に役立つセミナーを実施したいと考えています。

本校教育部

☆☆校外学習☆☆

9月8日(木)にエキスポシティにある日本最大級のeスポーツ施設「REDEE WORLD」にモノレールを使って行きました。エキスポシティの中にあるフードコートでお昼ご飯を食べました。ハンバーガーや牛タン定食を自分たちで注文して食べました。味もボリュームも大満足でした。REDEEでは、まずレゴブロックを使ったプログラミング体験を行いました。いつもとはまた違ったプログラミングを体験することができました。プログラマー体験では、巨大スクリーンを使ったゲームの対戦をしました。手に汗を握る白熱した戦いが繰り広げられました。その後、エキスポシティでお土産を買って帰りました。1日を通して、高校生活の思い出に残るような体験ができ大満足の1日でした。



☆☆体育祭☆☆

10月1日(土)に第38回体育祭が開催されました。今年度のスローガンは『極～限界をブチ切れ～』で、約3m四方の紙に書道で極と書いたり、新しい競技を考えたりなど限界をブチ切り極めた技術や作戦などを披露しました。ランダムスポーツでは、卒業生や保護者、教職員と交流しながらとねスポを楽しみました。みなさん記念の『極』シールを手に入れ、喜んでいました。生徒が発案した競技、攻城戦では、生徒たちは手に汗握る戦いを繰り広げ、会場全体を盛り上げました。忘れられない思い出になりました。



訪問教育部

☆☆ボバース記念病院☆☆

ボバース記念病院では、子どもたちが集まって出席をとったり、カレンダーづくりをしたりするみんなの会を行っています。残念なことに、新型コロナウイルス感染症拡大により、みんなが集合して行うことができず、代わりにZoomで各病室の子どもたちを結んでみんなの会をおこなってきました。しかし、10月末感染状況が落ち着き、病院より人数制限の条件付きで、集合してみんなの会を行う許可がでました。少人数であっても顔を合わせて行うと会が盛り上がります。Zoomでしていた時は、どうしても画面が止まったり、声が途切れたりすることがありましたが、集合して行うと子どもたちのペースで行うことができます。

現在、感染が再び拡大しつつあり、再びZoomで行うことになるかもしれませんが、どういう形になっても、子どもたちが楽しみにしているみんなの会を続けていきたいと思います。



☆☆愛仁会リハビリテーション病院☆☆

高槻市にある愛仁会リハビリテーション病院には年間を通して在籍している児童生徒と一時的に病院内で訪問指導を受けている児童生徒とが在籍しています。他の病院の訪問指導と同じように1回2時間週3回の授業を病棟内で行っています。年間を通して在籍している児童生徒は「みる・きく・ふれる」を中心に五感に働きかける授業を行っています。また、入学や卒業を祝う会、運動会に誕生会、四季折々季節に応じた行事についても授業に組み入れ楽しんでいます。秋にあった運動会では「ひっぱる」を主な学習課題とした競技種目、布や団扇を手集団演技や応援合戦と保護者や校長先生にも参加していただき楽しむことができました。春には9年間刀根山支援学校に在籍した生徒が巣立っていきます。病棟内での卒業式で明るく楽しく送り出そうと考えています。

大阪精神医療センター分教室 (精 神)

☆☆学習発表会☆☆

1 学期の運動会に引き続き、令和4年度の学習発表会スローガンは、【みんながスター☆かがやけ！WAになる座！！】本館のウッドデッキがステージ、新しい別館が作品展示会場となりました。



小学部・中学部合同の群読では小学生、中学生の声がしっかりと重なり、観客席まで届きました。また、歌の時には、間奏でステージを降りて観客席近くを通り、たくさんの拍手をもらいました。

☆☆栽培☆☆

1 学期に育てていたピーマンやナス、唐辛子などの夏野菜は、秋までしっかりと実がつけました。また枚方分教室のひょうたんを一緒に栽培し、たくさんの実



をつけました。

2 学期も引き続き、枚方分教室と一緒にミニ大根や二十日大根を育てています。水やりや間引きなど、小・中学部の児童生徒ががんばって世話をしています。収穫が楽しみです。



大阪大学医学部附属病院分教室 (阪 大)

ギャラリー展示

9 月末～11 月末にかけて、外来棟 1F の展示スペースに、児童・生徒の作品が展示されました。たくさんの方が足を止めて、見学してくださっていました。



学習発表会

11 月16日(水)～17日(木)にかけて、学習発表会を行いました。日ごろの授業の様子や制作の様子を動画で発表したり、制作物を展示したりしました。制作物は、テイルームに展示し、病棟の皆さんにも見て頂くことができました。



ICT 機器の活用

阪大分教室では、授業の最初にタイピングの練習を行ったり、zoom の操作の練習をしたり、積極的に情報機器に触れる機会を作っています。「ゆめ水族園」では、遠隔でロボットを動かす体験をしました。プログラミングに関する学習では、画面を共有し、問題を解決することにもチャレンジしました。

本物のラグビー選手がやってくる！？ 「オンラインラグビー交流」

7月20日終業式の日 web 会議システム「Zoom」を利用して、ラグビー選手との交流を行いました。

NPO法人 Being Alive Japan の皆さんのご協力により、リコーブラックラムズ東京の赤堀選手、吉村選手にオンラインで登場していただきました。

「グラッパ体操」というラグビーの動きを取り入れた体操を一緒にしたり、参加者で目標を言い合ったり、楽しいひと時を過ごすことができました。

「ようこそ先輩 ～滝井バージョン～」

10月18日に「Zoom」を利用して、滝井分教室でかつて学んだ経験のある専門学校生の方に

①今専門学校でどのようなことを学んでいるか

②分教室での思い出

③今分教室で学んでいる中学生に一言

などを話していただきました。

実際に専門学校で1Tの国家資格を取りながら懸命に学んでいる「先輩」の話聞くことで、分教室の中学生は自分の将来と進路のことを考えるよいきっかけになりました。

国際理解教育～インドのサリーとクルター～

10月31日の「総合的な学習の時間」では国際理解学習を行いました。

国立民族学博物館の貸し出し用学習セット「みんなぱっく」を利用して、今回はインドで暮らす人々の衣装や生活雑貨などをお借りしました。

インドの民族衣装であるサリーやクルターは普段私たちが来ている洋服とは異なる色やデザインなので、児童生徒は興味津々でした。

実際に試着すると、思った以上に着心地が良かったと児童生徒たちは感想を寄せていました。

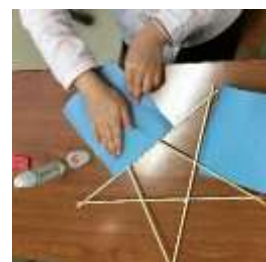
入院中でも異文化理解を深めることのできる貴重な体験となりました。



☆シ フィリピンのクリスマス ☆シ

T-NET の時間には毎回、講師のジェニファー先生に英語で自己紹介をしたり、一緒にクイズやゲームをしたりして、英語に親しみながら楽しい時間を過ごしています。11月の活動では、ジェニファー先生の故郷フィリピンのクリスマス飾り『パロール』作りに挑戦しました。『パロール』とは星飾りのことで、フィリピンではクリスマスが近づくと町中に大小さまざまなパロールが並び、クリスマスを盛大に祝うそうです。

まず、竹ひごで星型のフレームを作り、次に和紙を張っていきます。どんな色の組み合わせにしようか、悩みどころです。星の下にも和紙の飾りを取り付けて完成！自分だけのパロールを作ることができました。今年のクリスマスはいつもと一味違ったものになりそうです。



ロボットプログラミング選手権

11月25日に全国支援学校病弱教育校長会主催の「ロボットプログラミング 2022 近畿・東海・北陸地区大会」が開催されました。この大会は、FUJISOFT 社の Proro（プロロ）というプログラミングロボットを使い、直径 40cm の土俵で事前にプログラミングしておいたデータを使ってロボット相撲を行う大会です。今回の地区大会では、9校18チームがトーナメントで戦いました。刀根山支援学校からは、本校教育部、訪問教育部からそれぞれ1チームずつ参加しました。残念ながら、両チームとも初戦で敗退しました。本校教育部は、3本勝負で1勝1敗1引き分けでした。そうすると勝敗は、勝った試合の試合時間の短い方が勝利というルールがあり、わずか数秒の差で負けてしまいました。負けてしまいましたが、去年参加した時のプログラムより、それぞれよく練られたプログラムでした。

